

## VMware vSphere ESXi 7.0 におけるサーバ監視の留意事項

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

PRIMERGY/PRIMEQUEST のサーバ監視・管理ソフトウェア「ServerView Operations Manager(SVOM)」、「ServerView ESXi CIM Provider」、「HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider」、「ServerView RAID Core Provider」及び「ServerView RAID Manager」につきまして、VMware vSphere ESXi 7.0(以後、VMware vSphere ESXi 7 と略します)をインストールしたサーバ上で利用する際は以下の留意事項があります。

導入前に必ず本書をお読みのうえ、ご使用くださいますようお願いいたします。

### 【重要】

VMware vSphere ESXi 7 でサーバ監視・管理を行うには、リモートマネジメントコントローラ(以下、iRMC と記載します) / MMB WEB-UI(PRIMEQUEST)を使用して Out-of-Band 監視を行う方法、あるいは、監視対象サーバ用のエージェントソフトウェア、「ServerView ESXi CIM Provider」 / 「ServerView RAID Core Provider」を使用してエージェント監視を行う方法があります。

推奨監視手段は iRMC / MMB WEB-UI を使用した、Out-of-Band のサーバ監視・管理です。

iRMC を使用してサーバ監視・管理を行う場合の詳細については以下のマニュアルを参考にしてください。

SVOM を利用して iRMC による監視を行う場合

- ・ ServerView Agentless Management 概要

iRMC Web インターフェースを利用して監視を行う場合

- ・ iRMC Web インターフェース

その他、iRMC に関する取扱説明書

- ・ iRMC コンセプトとインターフェース
- ・ iRMC コンフィグレーションとメンテナンス

MMB WEB-UI を使用したサーバ監視・管理について

- ・ FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス

iRMC を使用したサーバ監視・管理と、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider を使用したサーバ監視・管理との機能差については、本書の「**■監視方法による機能比較(SVOM)**」をご参照ください。

iRMC を使用したサーバ監視・管理を行う場合、「ServerView ESXi CIM Provider」 / 「ServerView RAID Core Provider」が有効であれば、これらが取得した OS 情報は内部通信により iRMC に提供され、iRMC での OS 監視が一部可能となります。

「HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider」は「ServerView ESXi CIM Provider」と iRMC 間で PCI インタフェース経由の高速内部通信を可能にするサポートモジュールです。こちらのインストール有無により、iRMC での OS 監視に機能差が生じます。機能差については、本書の「**■HTI Support for ESXi CIM Provider の有無による機能比較**」をご参照ください。

SVOM を利用して iRMC による監視を行う場合と、iRMC WEB インタフェースを利用して監視を行う場合の機能差については、マニュアル「ServerView Agentless Management 概要」をご参照ください。

vCenter Server が提供する Proactive HA 機能を使用する場合、vCenter Server に ServerView Plug-in for VMware vCenter の登録が必要となります。この Plug-in では、ServerView ESXi CIM Provider から情報を取得するため、ServerView ESXi CIM Provider が動作している必要があります。Proactive HA 機能を使用する場合の VMware 環境のサーバ監視・管理においては vCenter Server による監視と、iRMC を使用してのサーバ監視・管理を併用することを推奨いたします。

- ※ この場合、ServerView Operations Manager で「ServerView ESXi CIM Provider」「ServerView RAID Core Provider」を使用した監視を行うことは必須ではありません。

VMware vSphere ESXi 7 には、ServerView Agents は提供されません。

- ※ ServerView ESXi CIM Provider、HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider、ServerView RAID Core Provider は、富士通専用 Custom Image(インストールイメージ / オフラインバンドル / Addon)にあらかじめ含まれています。なお、富士通ダウンロードサイトではこれらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider が公開されている場合があります。
- ※ 富士通ダウンロードサイトでは HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider、ServerView RAID Core Provider は ServerView ESXi CIM Provider に同梱されています。

## 【本体監視について】

### 1. 監視対象サーバ用エージェントソフトについて

VMware ESXi7 をインストールしたサーバを監視するためには、iRMC を使用した、サーバ監視・管理を行うか、または、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider を使用してエージェント監視を行う必要があります。

ServerView Agents、ServerView Agentless Service、および、ServerView Operations Manager はインストールできません。

監視対象サーバ(利用環境)とインストールが可能な監視ソフトの種別については以下をご参照ください。

#### 【監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャーソフトのインストール可否】

監視対象サーバ		VMware ESXi	Windows	Linux	ゲスト OS
ソフトウェア名称	ServerView ESXi CIM Provider	○	×	×	×
	HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider	○	×	×	×
	ServerView RAID Core Provider	○	×	×	×
	ServerView Agents	×	○	○	×
	ServerView Agentless Service	×	○	○	×
	ServerView Operations Manager (SVOM)	×	○	○	○
	ServerView RAID Manager	×	○	○	○

○:インストール可 ×:インストール不可

- ※ ServerView Operations Manager / ServerView RAID Manager を利用して、ESXi を監視・管理する場合は、別途管理用のサーバ(Windows または Linux、仮想マシン上のゲスト OS でも可)が必要です。

### 2. ServerView ESXi CIM Provider / HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider のインストールについて

ServerView ESXi CIM Provider / HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider は、「esxcli」コマンドを使用してインストールします。

インストール手順の詳細については、下記のインストールガイドをご参照ください。

ServerView CIM Provider モジュール for VMware vSphere ESXi 7.0 インストールガイド

### 3. ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider のアラーム機能について

ServerView ESXi CIM Provider は、イベント通知機能として、CIM Indication (ServerView Agents の SNMP トラップに相当)を使用します。

ServerView Operations Manager では SNMP トラップと同様に、ServerView ESXi CIM Provider からの CIM Indication を扱うことが可能であり、アラームアクションを定義することも可能です。

ServerView ESXi CIM Provider では SNMP トラップ送信/ホストのシスログへのイベントログ記録は未サポートです。ServerView RAID Core Provider にはイベント通知機能はありません。ストレージに関するイベント通知は ServerView RAID Manager を使用してください。

#### 4. ESXi のアップグレードを行う場合

VMware vSphere ESXi のアップグレードを行う場合、ServerView ESXi CIM Provider / HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider をアンインストールし、アップグレード後に再インストールすることを推奨します。

※ 富士通専用 Custom Image(インストールイメージ iso/ オフラインバンドル / Addon)を用いてアップグレードを行った場合、ServerView ESXi CIM Provider は自動的にインストールされます。なお、富士通ダウンロードサイトではこれらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider / HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider が公開されている場合があります。

#### 5. ServerView Operations Manager のサーバ監視について

ServerView Operations Manager を利用して VMware vSphere ESXi 7 のサーバ監視を行うには、別途管理サーバ (Windows/Linux 上で動くサーバ、ゲスト OS でも可)を準備して、ServerView Operations Manager をインストールする必要があります。

VMware vSphere ESXi 7.0 以降のサーバ監視を行うには、ServerView Operations Manager V7.20.08 以降が必要です。

※ 監視に使用する ServerView Operations Manager は公開されている最新版の使用を推奨します。

※ 対象のサーバは、ServerView Operations Manager の監視対象機種である必要があります。各版数の ServerView Operations Manager の監視対象機種については、ダウンロードモジュールに添付の Readme を参照してください。

なお、VMware vSphere ESXi サーバに対して、複数クライアントから情報収集等のアクセスが同時に行われた際、正常に応答が返らない場合があります。1 台の VMware vSphere ESXi サーバを複数の ServerView Operations Manager から監視する運用は推奨しません。

#### 6. ServerView Operations Manager へのユーザ/パスワードの登録について

ServerView Operations Manager で ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider を利用して VMware vSphere ESXi の監視を行うには、監視対象サーバのユーザ/パスワードを登録する必要があります。

また、iRMC を使用して監視を行うには、iRMC のユーザ/パスワードを登録する必要があります。

※ iRMC にデフォルトで設定されているユーザ/パスワードは ServerView Operations Manager に初期登録されています。そのため、デフォルトのユーザ/パスワードから変更がない場合は登録の必要はありません。

ユーザ/パスワードの登録については『ServerView Operations Manager』取扱説明書を参照してください。

※ ServerView ESXi CIM Provider を利用した監視には最低限、CIM 相互作用の権限を持ったユーザ/パスワードが必要になります。該当の権限を持ったユーザの作成方法は『ServerView Operations Manager』取扱説明書の「制限されたユーザアカウント(読み取り専用)を使用して、ServerView Operations Manager と ServerView RAID の両方またはいずれか一方で VMware ESXi ホストを監視する」の項を参照願います。

※ 監視対象のユーザ/パスワードを変更した場合、ServerView Operation Manager の登録ユーザ/パスワードも変更してください。正しいユーザ/パスワードが登録されていない場合、監視が出来なくなります。また、ServerView ESXi CIM Provider を利用した監視の場合、次項で説明するアカウントロック機能が働く可能性があります。

※ VMware vSphere ESXi 7 では、SSH 経由、及び vSphere Web Services SDK 経由のアクセスで、アカウントのロック機能がサポートされています。「ユーザ/パスワード」の組み合わせが多数登録されている場合等、アカウントロック機能により ESXi サーバにアクセスできなくなる場合があります。詳細については、VMware vSphere ドキュメント センターの「ESXi のアカウント ロックアウトの動作」を参照願います。

アカウントロックを抑止するには、以下の対処を実施してください。

1. ブラウザで VMware Host Client( <http://<esxi-host-name>/ui> または <http://<esxi-host-IP-address>/ui> ) を開き、対象の ESXi サーバにログインします。
2. 「管理」⇒「システム」タブ⇒「詳細設定」をクリックします。
3. 「Security.AccountLockFailures」キーを選択し、「オプションの編集」をクリックします。
4. 新しい値として 0 を設定し、「保存」をクリックします。  
(0 を設定するとアカウントロック機能が無効となります)

## 7. ServerView Operations Manager V8.20 以降での VMware vSphere ESXi 6 以降のサーバの検出・登録について

ServerView Operations Manager V8.20 以降では、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider を利用して監視を行う場合、VMware vSphere ESXi バージョン 6 以上のサーバを登録するためのサーバブラウザでの検出方法を、以下の 2 種類から選択できます。

- A) あらかじめ「6.ServerView Operations Manager への VMware vSphere ESXi 7 サーバのユーザ/パスワードの登録について」の手順で登録した、ユーザ/パスワードで ESXi サーバへの接続を確立する

デフォルトの状態で使用される方法です。

事前に登録した「ユーザ/パスワード」でアクセスを試み、接続が確立できた ESXi サーバのみを対象として検出し、登録を行うことが可能です。

対応する「ユーザ/パスワード」が事前に登録されていない場合、ESXi サーバを検出することが出来ません。また、「ユーザ/パスワード」の組み合わせが多数登録されている場合、アカウントロック機能により ESXi サーバにアクセスできない場合があります。アカウントロックおよびその抑止方法については「6.ServerView Operations Manager への VMware vSphere ESXi 7 サーバのユーザ/パスワードの登録について」を参照願います。

- B) ESXi バージョン 6 以降を資格情報不足ホストとして検出する(未認証のまま対象として検出・登録可能にする)

SVOM V8.20 以降で新規に追加された方法です。

ESXi 6 以降のサーバを未認証のまま対象として検出し、登録を行うことが可能です。

※ この場合、検出されたサーバは、説明欄に「VMware ESXi 6+(no credential set)」と表示されます。

この方法で検出・登録した場合、サーバの監視を行うためには適切な資格情報の割り当てが必要です。

サーバリスト画面で該当のサーバのコンテキストメニューの「サーバのプロパティ」または「サーバの再初期化」から使用する資格情報(「6.ServerView Operations Manager へのユーザ/パスワードの登録について」の手順で登録したユーザ/パスワードの組み合わせ)を割り当ててください。

※ 監視対象サーバのユーザ名・パスワードに変更があった場合、変更したパスワードの登録、再割り当てを行ってください。

検出方法の変更手順につきましては『Base Configuration Wizard』取扱説明書を参照してください。

## 8. PRIMEQUEST における ServerView Operations Manager へのサーバ登録方法について

ServerView Operations Manager へ PRIMEQUEST の ESXi サーバを監視する場合、以下の手順でサーバの登録を行ってください。

- ① 「6. ServerView Operations Manager へのユーザ/パスワードの登録について」を参照し、ESXi サーバにアクセス可能なユーザ/パスワードを登録してください。
- ② サーバブラウザ画面を開き、アドレスに MMB WEB-UI の仮想 IP を入力して検索を行ってください。
- ③ 検索結果が表示されますので、検出対象が登録を行いたい PRIMEQUEST であることを確認して登録を行ってください。
- ④ サーバリストに登録した PRIMEQUEST 筐体が表示されます。パーティションのツリーを展開し、対象の ESXi サーバがインストールされているパーティションを選択します。

- ⑤ 右クリックメニューから「サーバのプロパティ」を選択し、表示されたサーバのプロパティ画面で「アドレス」に ESXi サーバの IP アドレスを入力します。
- ⑥ 「7.ServerView Operations Manager V8.20 以降での VMware vSphere ESXi 6 以降のサーバの検出・登録について」の検出方法を「ESXi バージョン 6 以降を資格情報不足ホストとして検出する」に設定している場合、同項記載の通り、資格情報の割り当てが必要です。

#### 9. VMware vSphere ESXi 7 のロックダウンモードについて

VMware vSphere ESXi 7 のロックダウンモードが有効になっている場合、ServerView Operations Manager で監視を行うことは出来ません。

#### 10. ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について

ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能は未サポートです。

このため以下の動作を実行してもシステムシャットダウンは行われません。

- ・ServerView Operations Manager
  - 「シャットダウン後電源オフ」
  - 「シャットダウン後リセット」
  - 「ソフトシャットダウン」
- ・iRMC Web インタフェース
  - 「電源切断(シャットダウン)」
  - 「リセット(シャットダウン)」

#### 11. SVOM クライアント(ブラウザ)と VMware vSphere ESXi 7 のサーバ間の通信について

VMware vSphere ESXi のサーバ監視を行う場合、従来の SVOM と監視対象間の通信に加えて、以下の通信経路が必要となります。

SVOM クライアント(ブラウザ) <-> VMware vSphere ESXi 7 サーバ TCP 5988/5989

上記の通信ではシングルシステムビューでの対象サーバの監視情報の取得などを行いません。

#### 12. CIM Indication で使用されるポートについて

ServerView Operations Manager 上から ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider がインストールされた VMware vSphere ESXi 7 サーバに対して接続テストを行う場合、または CIM Indication を使用してイベント通知が行われる場合、VMware vSphere ESXi 7 サーバ のファイアウォール設定に対し、自動的に [dynamicruleset(3169 ポート)] が設定されます。

本ポートを閉じてしまうとイベント通知機能は使用できなくなります。

#### 13. 「接続テスト」について

「接続テスト」の結果は、下図のとおりになります。

なお、ServerView ESXi CIM Provider は SNMP をサポートしていないため、「SNMP」がタイムアウトと表示されます。この結果は正常ですので、問題ありません。

<input checked="" type="radio"/> In-band接続		<input type="radio"/> Out-of-band接続	
<b>svom208 - 10.21.136.208</b>			
<input checked="" type="checkbox"/>	一般的な接続:	TCP/IP: Ok	
<input type="checkbox"/>	SNMP:	タイムアウト	
<input checked="" type="checkbox"/>	ノードタイプ:	サーバ, 管理可能, ESX Server接続: Ok	
<input checked="" type="checkbox"/>	テストトラップ:	テストトラップを受信しました	
		OK	リトライ
		ヘルプ	

テストトラップがタイムアウトした場合は、以下の項目を確認してください。

- ・ 「5.ServerView Operations Manager のサーバ監視について」で指定されているバージョン以降の SVOM を使用しているか確認してください。
- ・ CIM Indication は、SVOM がインストールされているサーバの TCP ポート 3169 番宛てに通知されます。このポートがファイアウォールなどによって遮断されていないか確認してください。
- ・ SVOM をインストールした環境で複数の IP アドレス(NIC)を使用しており、且つ、そのうちのいずれかが VMware vSphere ESXi サーバと通信できない IP アドレスの場合、ServerView ESXi CIM Provider からのトラップ(CIM Indication)を受信できない場合があります。  
この場合、サーバリストで該当サーバを右クリックし、「サーバのプロパティ」を開き、サーバのプロパティ画面から「CIM」タブを開いて、VMware vSphere ESXi サーバと通信できる IP アドレスを「ユーザのサブスクリプションアドレス」に登録してください。
- ・ 1 台の VMware vSphere ESXi 7 サーバを、複数の SVOM のサーバリストに登録している場合、そのうちのいずれかから VMware vSphere ESXi 7 サーバを削除すると、他の SVOM でトラップ(CIM Indication)を受信できなくなる場合があります。  
この場合は、全ての SVOM のサーバリストから対象の VMware vSphere ESXi 7 サーバを削除後、改めて SVOM のサーバリストに登録してください。

#### 14. ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider による監視で vSphere Auto Deploy 機能を使用する場合

vSphere Auto Deploy 機能を使用している VMware vSphere ESXi 7 サーバを ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider を使用し監視する際、起動後の VMware vSphere ESXi 7 サーバの IP アドレスが、ServerView Operations Manager に登録済みの IP アドレスから変更される場合には、ServerView Operations Manager に再登録を行う必要があります。

起動後の VMware vSphere ESXi 7 サーバの IP アドレスが、ServerView Operations Manager に登録済みの IP アドレスから変更が無い場合は再登録の操作は不要です。

ServerView Operations Manager が VMware vSphere ESXi 7 サーバからイベント通知を受信するために、ServerView Operations Manager がインストールされているシステムの IP アドレスを VMware vSphere ESXi 7 サーバに登録する必要があります。この登録設定が行われていない ESXi イメージを使用するとイベント通知を ServerView Operations Manager に送ることができません。

#### 15. ServerView ESXi CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 7 の sfcdb サービスについて

VMware vSphere ESXi 7 サーバの ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider を使用した監視は、VMware vSphere ESXi 7 の sfcdb サービス機能を使用しています。

このため sfcdb サービスが正常に動作していないと VMware vSphere ESXi 7 サーバの監視が正常に行えません。監視が正常に行えていない場合、sfcdb サービスが正常に動作しているか確認してください。

また、sfcdb サービスを再起動することにより、正常に監視が行えるようになります場合があります。

##### sfcdb サービスの再起動方法

- ・ VMware vSphere ESXi 7 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行  
# /etc/init.d/sfcdb-watchdog stop

```
# /etc/init.d/sfcbd-watchdog start
```

- vSphere の Proactive HA 機能を使用している環境では、事前に Proactive HA 機能を無効にしてから sfcbd サービスを再起動してください。事前に Proactive HA 機能を無効にせず sfcbd サービスを再起動した場合、Proactive HA 機能が発動してしまう可能性があります。

#### sfcbd サービスの確認方法

・VMware vSphere ESXi 7 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行

```
# /etc/init.d/sfcbd-watchdog status
```

正常に動作している場合は、コマンドの結果が"sfcdbd is running"となります。

- 多数の CIM クライアントを使用しているなど非常に高負荷な場合には sfcbd サービスが正常に動作しなくなる可能性があります。

#### 16. ServerView ESXi CIM Provider によるウォッチドッグ機能のサポートについて

ServerView ESXi CIM Provider では以下の設定によるウォッチドッグ監視のみをサポートします。

下記の設定以外でウォッチドッグ機能を有効にしないでください。

ソフトウェアウォッチドッグ:

異常時動作: 継続稼動

タイムアウト時間: 4 分以上

#### 17. 富士通 Custom Image(インストールイメージ iso、オフラインバンドル、Addon)のアップデートについて

富士通 Custom Image(インストールイメージ iso、オフラインバンドル、または Addon)のアップデートを行った場合、ServerView ESXi CIM Provider / HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider の版数に変更される場合があります。

#### 18. 富士通 Custom Image(インストールイメージ iso、オフラインバンドル、Addon)、および ServerView ESXi CIM Provider / HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider のバージョンの確認方法

以下の手順により、Fujitsu カスタムイメージ、および格納モジュールのバージョン確認が実行できます。

- A) ESXi にダイレクトコンソール、または、SSH で管理者としてログインします。
- B) 以下のコマンドを実行し、富士通 Custom Image のバージョンを確認してください。  
> esxcli software component list | grep "FJT-fujitsu-conf"

[出力結果例]

```
FJT-fujitsu-conf Configuration component for a Fujitsu ESXi 7.0 customized image  
7.0.0-500.1.0 7.0.0-500.1.0 Fujitsu 03-24-2020 PartnerSupported
```

上記下線部が富士通 Custom Image のバージョンとなります。

- C) 以下のコマンドを実行し、ServerView ESXi CIM Provider のバージョンを確認してください。  
> esxcli software component list | grep "Fujitsu-svscimprovider"

[出力結果例]

```
Fujitsu-svscimprovider ServerView CIM Provider for the system monitoring  
9.20.16-10EM.700.1.0.15843807 9.20.16-10EM Fujitsu 04-22-2020 VMwareAccepted
```

上記下線部が ServerView ESXi CIM Provider のバージョンとなります。

- D) 以下のコマンドを実行し、HTI Support for ServerView ESXi CIM Provider のバージョンを確認してください。  
> esxcli software component list | grep "Fujitsu-svshti"

[出力結果例]

```
Fujitsu-svshti Fujitsu HTI driver  
9.20.16-10EM.700.1.0.15843807 9.20.16-10EM Fujitsu 05-14-2020 PartnerSupported
```

上記下線部が ServerView ESXi CIM Provider のバージョンとなります。

- E) 以下のコマンドを実行し、ServerView RAID Core Provider のバージョンを確認してください。  
> esxcli software component list | find " Fujitsu-raid0"

[出力結果例]

```
Fujitsu-raid0    Fujitsu Primergy raid provider for ESX Server  
9.20.02-01     9.20.02-01    Fujitsu    04-10-2020    VMwareAccepted
```

上記下線部が ServerView RAID Core Provider のバージョンとなります。

## 19. トラブル対応について

VMware vSphere ESXi 7 上でのハードウェア監視機能は、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider で実現します。

しかしながら、VMware vSphere ESXi 7 上では CIM Provider が利用可能なリソースに制約があり、CIM Provider で問題が発生した時に十分な情報が得られず、原因究明に至らない場合があります。回避策として ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider の再インストール等をお願いする場合がございますので、ご了承ください。

## 20. ServerView Operations Manager の補足情報

ServerView Operations Manager で監視を行う場合の追加・修正・補足情報を以下の URL で公開しています。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/additional-info.html>

## 【ストレージ監視】

### 1. ServerView RAID Manager のインストール先について

ServerView RAID Manager を用いて VMware vSphere ESXi 7 サーバ上のストレージ監視をおこなう場合、ゲスト OS 上に ServerView RAID Manager をインストールするか、もしくは別途管理サーバ (Windows/Linux 上で動くサーバ) を準備してそこにインストールしてください。

### 2. ServerView RAID Manager のインストール手順/設定方法について

ServerView RAID Manager をインストールした後は VMware vSphere ESXi 7 固有の設定が必要です。

インストール手順と設定方法については、「ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 7 インストールガイド」(別紙)をご参照ください。

### 3. ServerView RAID Manager への VMware vSphere ESXi 7 サーバのユーザ/パスワードの登録について

ServerView RAID Manager で ESXi の監視を行うには、ユーザ名/パスワードの登録が必要です。

登録方法は、「ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 7 インストールガイド」(別紙)をご参照ください。

※ 監視対象サーバのユーザ名、パスワードを変更した場合、こちらの登録ユーザ名・パスワードも変更してください。正しいユーザ名・パスワードが登録されていない場合、監視が出来なくなるほか、アカウントロック機能が働く可能性があります。

### 4. ServerView RAID Manager から発行される SNMP Trap について

VMware vSphere ESXi 7 サーバを監視する場合、ServerView RAID Manager が発行する SNMP Trap は、ESXi サーバを監視するサーバ (ServerView RAID Manager をインストールしたサーバ) が Trap の発行元となりますのでご注意ください。

### 5. ESXi7.0 GA 版の Fujitsu Custom Image (v500-1) を使用している場合、このイメージには監視に必要な LSI CIM Provider が同梱されていないため以下の制限が存在します。

- 利用可能な LSI CIM Provider がないため、コントローラは表示されません。
- コントローラのアクションを実行できません。
- オンボードアレイコントローラ、または PSAS CP40x コントローラに接続され、エキスパンダーやハードディスク



クキャビネットを介しないドライブの監視が可能です。  
論理構成にないドライブは AHCI の下に表示されます。

※ LSI CIM Provider が必要な場合、ESXi 7.0b(v501-1), または ESXi7.0U1(v510-1)以降の Fujitsu Custom Image を適用してください。

#### **6. ServerView RAID Manager の補足情報**

ServerView RAID Manager で監視を行う場合の追加・修正・補足情報を以下の URL で公開しています。  
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/additional-info.html>

■監視方法による機能比較(SVOM)

カテゴリ	機能	ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider	iRMC 使用監視
SVOM※1 主な機能	センサーステータス情報の取得	○	○
	パフォーマンス情報の取得	×※2	×※2
	イベント通知機能	○	○
	イベントログへ記録	×	×
	アーカイブ、インベントリ情報の取得	×	○
	ASR&R ウォッチドッグ機能	○※3	×
	ASR&R スケジュール運転機能※4	×	×
	閾値監視	×	×
	電力使用量の監視	×	×
	ソフトウェア、ファームウェアの管理	×	×
	接続テスト	○※5	○※6
シングルシステムビュー システムステータス	環境	○	○
	外部記憶装置	○	×
	電源	○	○
	ベースボード	○	○
	ネットワーク	○	○
	ドライバモニタ	○※7	×※8
シングルシステムビュー システム	システム情報の取得	○	○
	エージェント/エージェントレス サービス/CIM 情報	○	○※9
	オペレーティングシステム	○	×
	プロセス	×	×
	ファイルシステム	×	×
	ディスクパーティション	×	×
	リソース	×	×
シングルシステムビュー メンテナンス	バッテリー情報	×	○
	システムイベントログ	×	×
	サーバのプロパティ	×	○
	ASR&R	○※4	○※4
	起動オプション	×	○
	リモートマネージメント	○	○
	診断情報収集(PrimeCollect)	×	×
	オンライン診断	×	×
CSS	×	○	
シングルシステムビュー 仮想マシン	物理マシン情報	○	×
	仮想マシン情報	○	×
スレッシュホールド マネージャ	閾値監視機能	×	×
	パフォーマンス監視	×※2	×※2
パフォーマンス マネージャ	パフォーマンスの取得	×	×
	パワーモニタ	×	×
アップデートマネージャ		×	×

○: 可能(ただし、ServerView Agents を使用するシステムと内容が異なる場合があります)

×: 不可能

※1) VMware ESXi 7.0 のサーバ監視を行う場合、SVOM V7.20.08 以降をご利用下さい。

※2) 配下のゲスト OS についてもパフォーマンス監視は未サポートとなります。

※3) ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグ機能のみをサポートします。

※4) スケジュール運転は ServerView Operations Manager から設定できません。iRMC Web インタフェースの「電源制御」→「電源制御オプション」→「自動電源投入/切断時刻設定」にて電源投入のスケジュール運転を行うことは可能です。

iRMC Web インタフェースでは電源切断のスケジュール運転は未サポートです。システムシャットダウン/電源切断は行われません。

- ※5) 接続テストの項目のうち、SNMP はタイムアウトとなります。
- ※6) 接続テストの項目のうち、一般的な接続は、TCP/IP: Ok, Remote Connector: 失敗、テストトラップは、設定エラー: テストトラップ(例 エージェントがインストールされていない、許可が与えられていない)となります。
- ※7) ServerView Operations Manager でドライバモニタを表示するためには ServerView Operations Manager V8.00 以降が必要です。
- ※8) iRMC を使用した監視の場合、ドライバモニタの表示は ServerView Operations Manager ではできませんが、iRMC WEB インタフェース画面では可能です。
- ※9) エージェント名: エージェントレス管理サービス、リビジョン: n/a と表示されます。

#### ■ HTI Support for ESXi CIM Provider の有無による機能比較

HTI Support for ESXi CIM Provider がインストールされていない場合、以下の機能が使用できません。

- iRMC のドライバモニタ機能
- iRMC の有償機能 embdded LifeCycle Management(eLCM)の PrimeCollect 機能
  - ※ ESXi の場合、こちらで取得できる内容は vmsupport ファイルとなります。
- iRMC で、OS 側(RAID Core Provider)で取得した外部記憶装置の情報表示
  - ※ Out-of-Band 監視に対応した RAID コントローラ等を使用している場合、iRMC はコントローラから直接情報の取得を行うことが可能です。

#### 更新履歴

版数	変更内容	日付
初版	新規作成	2020年07月14日
2版	【ストレージ監視】 - 「5. ESXi7.0 GA 版の Fujitsu Custom Image (v500-1)を使用している場合、このイメージには監視に必要な LSI CIM Provider が同梱されていないため以下の制限が存在します。」の内容を修正	2020年12月22日

以上